

「建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画」フォローアップ会議(国土交通省) 全建 地域建設業における女性活躍・定着促進に向けたロードマップ(令和7年～令和11年)の概要と取組報告

概要

令和7年3月「建設産業における女性活躍・定着促進に向けた新たな実行計画」に基づき、全ての人が働きやすく、働きがいのある、魅力ある建設産業を実現し、建設産業の担い手確保につなげていくことを目的として全建「**地域建設業における女性活躍・定着促進に向けたロードマップ**」を令和7年4月23日改訂。

実行計画の「**トップの意識を変えて、現場が変わる。担い手確保につなぐ、全ての人が働きやすく、働きがいのある魅力ある建設産業の実現へ**」を目指して、女性活躍・定着促進に向けた取組内容等を全国建設業協会・都道府県建設業協会及び会員企業において実施することとした。

取組内容

(1) 建設産業の魅力向上・発信

～選ばれる建設産業を目指して～

- 全ての人が働きやすく働きがいのある魅力ある建設産業を目指した意識改革
- 働きやすく柔軟な働き方のできる環境整備
- スキルアップできる環境整備
- 建設産業の魅力・働きがいの効果的な発信

(2) 働きやすい現場の実現

～現場で働く女性のハード・ソフト両面からの環境整備

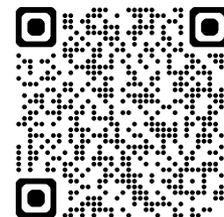
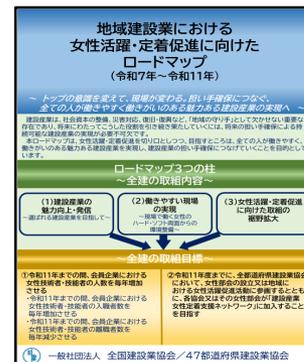
- 現場のハード面からの環境整備
- 現場における働き方改革
- 現場における意識改革

(3) 女性活躍・定着促進に向けた取組の裾野拡大

- 都道府県協会の女性部会設立等の促進
「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入促進
- ロードマップ策定後のフォローアップ・取組内容の展開

全建の実績

- ◆令和7年4月23日 全建ロードマップを改訂。
- ◆令和7年6月9日 各取組の参考となる事例集やポータルサイトを紹介したリーフレットを策定。各都道府県建設業協会に会員企業に配布。
- ◆全建ホームページにもロードマップとリーフレットを掲載。



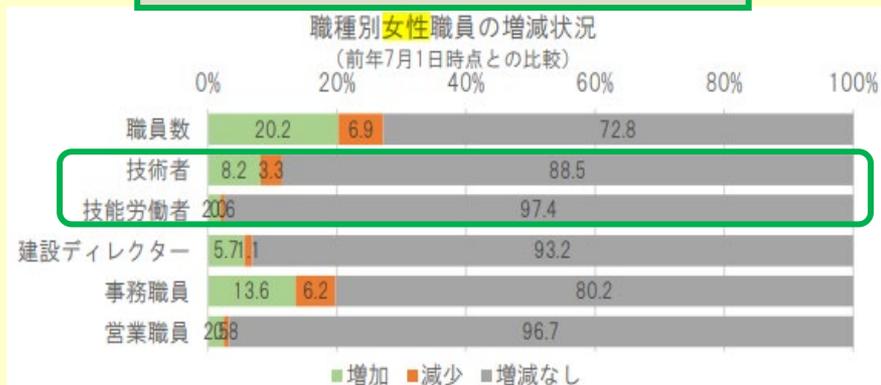
全建ホームページ QRコード

各都道府県協会の取組目標と実績

【ロードマップ取組目標①】

令和11年までの間、会員企業における女性技術者・技能者の人数を毎年増加

増加した企業割合：技術者：8.2%、技能者：2.0%



全建 令和7年度「労働環境の整備に関するアンケート」結果より

【ロードマップ取組目標②】

全都道府県建設業協会において、女性部会の設立又は地域における女性活躍促進活動に参画するとともに、各協会又はその女性部会が「建設産業女性定着支援ネットワーク」に加入することを目指す。

⇒女性部会を設置又は地域の女性活躍推進活動に参画(45協会)
建設産業女性活躍推進ネットワークに加入(27協会)

◆各種会議、催し等の活動

- ・現場見学会、現場パトロール(25件)：会員企業、小中高、専門学生、大学生・保護者
- ・社会貢献活動、表彰やコンテスト活動(7件)：清掃ボランティア活動
- ・意見交換会／懇談会、相談会／説明会(46件)：県内のみならず他県の女性部会との実施、学生、UIターン者等
- ・インターンシップ(21件)：職業体験学習、実習授業／出前講座を地元小中高や保育園等
- ・イベント開催／ブース出展(20件)：一般住民や未就学児から大人まで、幅広い地域で大規模

◆資格取得支援や研修会・講習会・講演会開催(31件)

- ・最新のICTやIOT施工、AI活用によるスキルアップ、SNS広報、建設ディレクター、アンコンシャスバイアス等多岐

◆広報(27件)

- ・ラジオ番組、イベントの夏用ユニフォーム作成、建設広報誌に掲載、イベント用グッズの作成、インスタ、動画配信

◆補助金・助成金の周知・活用紹介(9件)

- ・働き方改革推進支援助成金制度を説明、担当する県の担当課を案内

◆労働環境の整備(3件)

- ・快適トイレや更衣室設置等ハード面での発注者への働きかけや意見交換

◆状況把握(アンケート実施 5件)

◆各種会議・催し等の活動

現場見学会、現場パトロール、意見交換会、インターンシップ(体験学習等)、イベント 等

【目的・効果】

- ◆女性が仕事する上での課題を同じ視点で共有できる意見交換会を開催することで顔の見えるネットワーク化を強化。
- ◆他社現場を見ることによる取組や気づき、モチベーション向上やスキルアップ。◆先進的な現場による新たな魅力発見・驚き。
- ◆授業とは違った建設業の仕事の身近さ(建設現場の実態に対する理解が大きい)。◆地域施設やインフラを造る者の使命等への理解。
- ◆子どもから大人まで幅広い世代に対して、建設業の魅力、防災の重要性を伝える。◆年々、衛生的で働く環境のよい工事現場が増加。
- ◆来場者の半数以上が学校配布のチラシを通じて本イベントを認知しており、集客において最も高い効果を発揮。 など

【課題・気づき】

- ◆女性エンジニアスタッフ確保。◆部会員の増員、女性部会員の拡大・定着。◆講演頂ける女性技術者が少ない。
- ◆真夏(夏休み)実施での熱中症の心配と準備(冬休みは短い、春休みは工事が終了)。◆目的に合った現場の選定が難しい。
- ◆受け入れ現場の負担増。◆現場へのアクセス方法の確保、公害・近隣への配慮・防止。◆参加者による撮影と撮影した場合の取扱い。
- ◆建設業に興味のある学生層の掘り起こしで学生が興味を持つような現場選定が難しい。
- ◆子供学生を相手にするので制作時間が不足、スタッフ数不足。◆就職に結びついていないか確認しにくい。
- ◆建設業労働災害防止推進月間である9月を目安に実施、回数・場所が限定的。 など

女性エンジニア「わかぼ」と行く
女子限定×現場見学会2025

現場説明 工事現場でクワクワドキキ体験!! 高所作業車乗車



バックホウ操作 ドローン操作 記念写真

秋田県建設業協会からの情報提供

未来をくもるおはなただ!

建 FES GO!

~建設の面仕事体験~

栃木県建設業協会からの情報提供



わかやまけんせつ小町・なにわ建女の会
と意見交流会を開催。
各府県の建設業の状況や女性活躍・定着の
活動報告など活発な意見交流が出来ました。
今後も近畿の他府県女性活躍団体と継続して交流を
深めていく予定です。

滋賀県建設業協会からの情報提供



徳島県建設業協会からの情報提供

◆資格取得支援や研修会、広報、補助金の活用紹介、労働環境整備の活動、状況把握

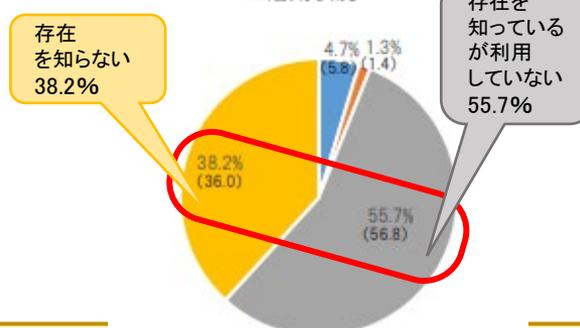
【目的・効果】

- ◆各社での広報(SNS)活用・更新の高まり。◆研修内容によって各社現場毎で実践可能。
- ◆研修会で体験することでスキルアップ向上が早い。◆働き方改革支援センターから働き方改革／推進支援助成金の説明。
- ◆アンコンシャス・バイアスに気づく、意識する、考え方を少し変化するだけで新しい意識と感覚の広がりにつながると多数意見。
- ◆県土整備部や県議会の委員会との意見交換による働きかけ。◆生理痛休暇の取得推進及び社内理解について意見交流。 など

【課題・気づき】

- ◆常に新しい研修内容を検討、SNS更新する必要がある。
- ◆内容によって参加者度合いがまちまち、増えない。◆講師の選定・時期。
- ◆グループワークの時間が不足。◆研修や紹介後の活用状況の把握、効果検証が難しい。
- ◆プライベートに関する議題や男性参加者が多い会ではオープンに話すことに抵抗感。
- ◆アンケート調査の回収率と率直な意見の収集に工夫が必要。
- ◆冊子設置の需要の予測が難しい。
- ◆資金面、女性対象・取材先の少なさ。
- ◆支援金活用は具体例を多く出さないとイメージがしづらい。 など

「働き方改革推進支援センター」の活用状況



「私たちの未来(あした)をつくるセミナー」を開催しました

【講習内容】

- ・「建設業界で女性が働きやすい職場環境づくり」
- ～誰もが働きやすい職場にするために、私たちの未来(あした)をつくる～
- Office AIM 代表 森川 あやこ 様
- 【当日の様子】



働き方改革専門委員会 近藤委員長開会挨拶 森川先生ご講義

愛知県建設業協会からの情報提供(全建により一部加工)



- ◇「建設業で働く女性」パネル展示会
- ・7/15～8/21 西郷港フェリーターミナル 2階待合室に女子会パネル10枚、女子図鑑(冊子)を設置。
- ・設置した女子図鑑70部は全て無くなっていた。

島根県建設業協会からの情報提供

- ・社会保険労務士等を派遣してもらった
- ・電話による相談を行った
- ・センターの存在は知っているが利用していない
- ・センターの存在を知らない

全建 令和7年度
「労働環境の整備に関するアンケート」結果より



石川県建設業協会からの情報提供